

New Edition POWWOW 英語Ⅱ

Lesson 4 “Bouquets of Love” を題材にした授業

栃木県立小山西高等学校

真田 まち子



1. はじめに

本校は、昭和61年(1986)に開校した県内でもっとも新しい男女共学の全日制普通科高校です。緑豊かな環境に囲まれ、生徒は「伸びゆくわれら」を合言葉に、勉強や生徒会活動・部活動・各種奉仕活動などで充実した生活を送っています。そして本校は、一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな感情や情操を育て、知・徳・体の調和のとれた人格の形成に努めています。進路指導の特徴として、生徒一人ひとりの進路を実現するため、3年間を通して計画的継続的に進路学習を展開しています。また2、3年では、進路に応じた勉強ができるようコース制をとっています。さらに、勉強をよりいっそう充実させるため、習熟度別学習・課外・早期学習及び土曜学習会など、きめ細かな指導をしています。

本校ではPOWWOWを昨年から使い始め、今年で2年目になります。今回はNew Edition POWWOW II Lesson 4 “Bouquets of Love” を題材にした授業展開について書きたいと思います。

2. 内容理解①「音読」

本課は、「少年 Victor が好きな女の子の気を引くために嘘をついてしまう」というストーリーです。これに関して生徒たちは、登場人物が高校生であり、また場面設定も学校ということで、自分たちとの共通点を見出し、はじめから随分と興味を持ったようでした。

彼らは昨年 POWWOW I Lesson 7 “The Rocket Boys” で高校生である主人公が、ロケットを打ち上げるという夢を実現するまでの物語を読んでいます。本課の登場人物も高校生であるが、物語の内容は全く異なった「青春もの」なので、それを読んだ彼らがどのような反応を示すのが楽しみでした。そこで、この課の指導ポイントは学習指

導要領英語Ⅱの目標の中の、特に「読んだことを理解し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる」に焦点を置くことにしました。

まず「読んだことを理解する」という目標に関しては、主人公 Victor の英語の授業での様子、数学の授業での様子、フランス語の授業、また忘れ物を取りに戻った教室での Teresa との出会いの場面などに焦点を当て、その時々彼の心情をくみ取ることで理解を深めていくことにしました。

最初は、「音読」をかなり意識した指導を取り入れました。文をスムーズに読めるようにすることはもちろんですが、この課では対話の部分が数箇所あるので、それらでは、登場人物の気持ちを考えながら読むこと、次は自分を登場人物に置き換えて読むというように段階を追った指導をしました。特に下記英文の対話を用いました。

(V=Victor, M=Michael, T=Teresa)

- ① M: What classes are you going to take?
(Michael asked.)
V: French. How about you?
M: Spanish. I'm not so good at it, even though I'm Mexican.
V: I'm not either, but I'm better at it than math.
(Victor said.) (Part 1)
- ② (Teresa asked Victor if he would help her with her French.)
V: Sure, anytime. (Victor said.)
T: I won't be bothering you, will I?
V: Oh no, I like being bothered. (Part 4)
- Victor が久しぶりに会った友達との対話と、好意を持っている Teresa との初めての対話の2つを選びました。最初は声を出して読むことに戸惑いを感じていた生徒も、繰り返して読むことで随分と声が出るように改善されました。また自分でもその成果を実感できるためか、他の英文を読む

際でも、今ではずいぶん声が出るようになってきています。しかし、「登場人物の気持ちを考えながら読む」ことや「自分を登場人物に置き換えて読む」という段階になってくると、生徒たちの読む声が次第に小さくなってきてしまいました。理由として考えられるのは、今までこのような経験があまりなかったということ、さらにその事以上に読む本人の「照れ」があったためではないかと思いました。

3. 内容理解②「イラスト」

次は、登場人物の心情を理解するために必要と思われる場面は、英文で理解できるように指導するばかりでなく、その場面を「イラストに描いて理解させる」という方法を用いました。この活動は次下線部を中心に行いました。

- Victor sat calmly in his homeroom. He found Teresa sitting two rows away. (Part 1)
- After English, Victor had math, which was his weakest subject. He sat in the back by the

生徒の描いたイラスト

Part 3

In French class.
Très bien. Parlez-vous français?
raised his hand, wanting to impress Teresa. But, he didn't know what to say.

Part 4

Victor が数学の教科書をとりに行ったときに、Teresa に話しかけられた。ビュー先生と目があうところ。
Mr. Butler's boyhood...

Part 2

ビクターは数学の時間窓ぎわのうしろの席に座って、Teresa を映画にさそふことを空想していた。

window, hoping he would not be called on. He daydreamed about taking Teresa to a movie. (Part 2)

3. After lunch, the bell sounded for the afternoon classes. “French at last!” Victor thought. He sat near the front of the classroom, a few desks away from Teresa. (Part 3)

この活動のために上記の英文を使ったのは、Victor が選択する座席の位置は、彼のその時の心理状態を表していると考えられたからです。数学が苦手な Victor は、数学では教室後方窓際に座り、彼が関心を持っている Teresa がいるフランス語の授業では、彼女と少し離れてはいるけれど前の席に座ります。この Victor の座る座席の位置をしっかりと生徒に理解して欲しかったのです。この方法は、イラストが上手い下手に関係なく印象に残るのでかなり効果的だと思います。また口頭で説明しながらイラストを描くことができるので、授業が途切れることなくスムーズに流れるという利点もあります。さらに内容を再確認する時に

もこのイラストを使うことができるので便利です。このイラストを用いる方法は授業だけでなく、生徒の理解度ををはかるため、定期試験でもよく用います。たとえば1学期中間試験では次の下線部をイラストに描き、日本語でそれについて説明するという問題を出題しました。

On Father's Day in 2005, Rick bought his father dinner. However, the thing he really wants to give him is a gift he can never buy. "My dream is that my dad sits in the chair and I push *him* once," Rick types. (Lesson 2 Part 4)

生徒の中にはイラストを描くのが苦手な生徒もいることを考慮して、解答用紙にはヒントとなるいくつかのイラストを載せておくことをしました。生徒たちは頑張って描いてくれました。

4. 内容理解③「アクション(身振り)」

次の方法は、アクションを取り入れながら、いくつかの場面や単語を生徒に理解させようとしてしました。これには下記英文で下線部を中心に実践しました。

1. Some of the girls giggled. Everybody laughed. (Part 1)
2. Mr. Bueller, wrinkling his face in curiosity, asked him to repeat. (Part 3)
3. The bell sounded again and Victor shot out of the room. He looked sheepishly at the teacher, who was erasing the blackboard. Then Victor widened his eyes in terror at Teresa, who stood in front of him. (Part 4)
4. Mr. Bueller looked at Victor, and Victor looked back. "Oh please, don't say anything," Victor pleaded with his eyes. (Part 4)
5. Teresa asked Victor if he would help her with her French. "Sure, anytime," Victor said. "I won't be bothering you, will I?" "Oh no, I like being bothered." (Part 4)

これらの文は、登場人物の態度はもちろんですが表情にも「動き」が感じられ、比較的容易に実

践できました。アクションを加えることで授業が活性化し「動的」になったと思います。とにかくこのような活動をする時には、映画やテレビでの場面を参考にしながら、「オーバー」にやることだと思います。これらの文の中で理解させるのがたいへんだったのは、2の文でした。とにかく、「興味をかきたてられ顔をしかめながら」なのですから…。

以上が「読んだことを理解する」ために授業で実践した、3つの活動です。

5. コミュニケーション

次に「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる」というもう1つの課題を実施するために生徒がもっとも反応を示し易いと思われる、下記の文で実施しました。

Mr. Bueller looked at Victor, and Victor looked back. "Oh please, don't say anything," Victor said①. "I'll wash your car, mow your lawn, walk your dog② — anything! I'll be your best student.

下線部①は教科書では Victor pleaded with his eyes ですが、活動を実践的なものにするために Victor said という表現にかえて実施しました。

まず、下線部①を私自身が表現しました。生徒は少し戸惑いを感じたようでした。しかし頃合をみて“OK! Please look at underlined parts. There are two. Not A but B! Now, it's your turn. Were you in his position, what would you say? Will you give me some examples?”と続けました。私の指示に対して彼らが出してくれた例を挙げると、“I'll clean your room.” “I'll study harder.” “I'll concentrate on your French class.” “I'll erase the blackboard after your class.” “I'll massage your shoulders.” “I'll water your flowers.” “I'll obey school rules.” などです。これらの文から、彼らの必死な気持ちが伝わってきました。実はこれは私が配布した用紙に書かせたのですが、ねらいの主旨からすると、対話形式での発表への継続的な活動にすべきであったと反省しています。

以上英語Ⅱの目標を達成するために行った活動に関して書きました。反省点としては、「理解する」ことが、「コミュニケーションを図ろうとする態度を育てる」という活動の根底にあることは言うまでもありませんが、今回の指導を振り返ってみると、「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる」ための活動場面が、「読んだことを理解する」という活動より少なくなってしまうのではないかとこの点です。

6. 本文終了後の活動

本文が終わった時点で、2つの活動を行いました。今回の指導の目標とは離れるかも知れませんが、授業で生徒の様子を見ていて、本文中のどの文に関心を持ったのか、非常に興味があり、実施しました。

最初は、「本文を読み、気に入った文章を選びその理由を書く」という活動です。私が担当しているのは2クラスで、男子が多いクラス(男子32, 女子9)と女子が多いクラス(男子14, 女子23)です。結果として、二つのクラスがもっとも支持した文と3番目に支持した文が全く同じで、2番目に支持された文にのみ違いがありました。もっとも好まれた文章は、①の下線部でした。

Then Mr. Bueller asked if anyone knew French. Victor raised his hand, wanting to impress② Teresa. The teacher smiled and said, "Très bien. Parlez-vous français?"

Victor didn't know what to say. The room grew silent. Victor felt all eyes staring at him. Pretending that he knew his way out of the crisis, Victor uncertainly said something that sounded like French. Mr. Bueller, wrinkling his face in curiosity, asked him to repeat. Victor just mumbled.

Big roses of red flowered on Victor's face.① (Part 3)

理由として挙げたのは、「ビクターの恥ずかしさで焦っている気持ちを赤いバラにたとえたこ

ろがおもしろかった」「初めて知った表現でとても印象深かった」「表現が愛らしく美しい」などでした。男女の比率の違う2クラスで、しかもそれぞれのクラスで約半数近くの生徒に支持されたことは驚きでした。それほどこの文は彼らにとって強く印象に残ったようでした。

男子が多いクラスが選んだ2番目の文は、②の下線部を含む英文でした。

理由は、「ビクターの必死さが伝わってきたので」でした。このクラスは男子が多いので、彼らはおそらく Victor が Teresa に対して積極的な態度に出たことに共感したのでしょう。

その一方で女子が多いクラスが選んだ2番目の文は次の下線部でした。

Teresa asked Victor if he would help her with her French. "Sure, anytime," Victor said. "I won't be bothering you, will I?" "Oh no, I like being bothered." "Bonjour," Teresa said, leaving him outside her next class. The roses of shame on his face became bouquets of love. (Part 4)

主な理由としては、「表現の仕方がきれいでも愛の花束というすてきなものにかわったところ」「bouquets of love という表現の音の響きが良かった」などでした。表現が好きというだけではなく、英語という言語の持つ「音の響き」を楽しんでいる生徒の存在に嬉しくなりました。

3番目の文は、下記の下線部で、2クラス共この文を選んでいました。

Mr. Bueller looked at Victor, and Victor looked back. "Oh please, don't say anything," Victor pleaded with his eyes, "I'll wash your car, mow your lawn, walk your dog — anything! I'll be your best student."

Mr. Bueller, recalling his own boyhood, just smiled. (Part 4)

理由としては、「ビューラー先生のやさしい人柄が伝わってきた」「先生も昔このような体験があ

ったの?」「先生の心の広さに感動した」「素晴らしい先生だ!」でした。これらの理由から彼らがいかにビューラー先生に好意を持ってこの文を選んでいたのかがわかるでしょう。思いをよせる Teresa を前にして、「あの時はなんて言ったの?」などと詰問されたのでは確かに主人公の Victor でなくてもたまったものではないと思います。生徒は自分を登場人物に重ねたり、時には客観的に見つめたりしながら読んでいたようです。

2 番目の活動は、本文を読んでイメージできる場面をイラストに描くということでした。文を理解させるための具体的な手段として、授業でイラストを描きますが、今度は彼らに描いてもらおうと思ったからです。彼らが支持した文についての結果はすでに書きましたが、それと比較すると、彼らが描いたイラストの場面は実にさまざまでした。それらはシンプルでなかなか味わい深いものがあると思います。以上2つは時間的に余裕があったために実施できた活動でした。

7. おわりに

Lesson 4 での授業は、さまざまな活動を通して生徒の反応を確認しながら授業を進めることができました。これらは本課の話題に合っていたので可能となった活動でした。

しかし授業を振り返って見ると、指導する上で少しの困難さがあったところもありました。それは下記の文での時制に関するものでした。

On the first day of school, Victor Rodriguez decided he would take French. (中略) Besides, he knew Teresa would take French, too. He had liked her since they were together in religion class the year before. (Part 1)

これに関して文英堂に問い合わせたところ、速やかにご回答をいただきました。しかし生徒にとっては従属節における時制の単純化ということに関しては理解しにくかったようでした。

◆ ◆ ◆

最後に文英堂に希望することを書かせていただきます。生徒たちは日本に住み、世界各国の話題を読んでいます。しかし、視点をかえて、「世界で活躍している日本人」「日本が世界に向けて果たすべき役割」などに関する話題、生徒の将来に向けての“Career Education”を扱った読み物もかなり興味深く、必要であると思います。ぜひご一考いただきたいと強く希望いたします。